

教育課程論(中・高)

科目ナンバリング ESS-218
教職 選択 2単位

岡田 行雄

1. 授業の概要(ねらい)

教育課程は、学校の教育活動を実施する上での基本となる教育計画である。教育課程の編成・実施に関する基礎理論と各学校における編成・実施の実態を理解する。

また、教育課程が社会情勢や国の教育政策によって変遷することを学ぶとともに、各学校及び生徒にとって望ましい教育課程とは何かを考えていきたい。

2. 授業の到達目標

- (1) 学校における教育活動が教育課程に基づいて実施されていることを理解できる。
- (2) 教育課程の編成・実施・評価の過程及び手順について理解できる。
- (3) 学校の課題や生徒の実態に即した教育活動のための教育課程について考えることができる。
- (4) 教育課程の編成・実施上の今日的な課題について考えることができる。

3. 成績評価の方法および基準

授業への参加状況と授業内レポート等(50%)、期末試験の成績(50%)を総合的に評価する

4. 教科書・参考文献

教科書

文部科学省 『中学校学習指導要領解説 総則編』(平成29年告示)

参考文献

必要に応じて資料を配布する。

5. 準備学修の内容

- ・自分の出身校の中学校・高等学校の「特色ある教育活動」について、情報収集を行い、授業において発表できるように準備しておく。
- ・教育課程にかかわる基本的な教育用語に関する小テストを行うので、テキストを活用して理解を深めておく。

6. その他履修上の注意事項

- ・教育課程は、学校の教育活動の基本であり、教職を目指す者には不可欠な基本的事項であることを踏まえて、真剣な態度で受講すること。
- ・教職を目指す学生としての授業規律と積極的な授業参加を求める。
- ・第1回オリエンテーションには、必ず出席すること。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---|
| 【第1回】 | 授業に関するオリエンテーション
・教育課程に関する基礎理解(レディネス調査) |
| 【第2回】 | 学校教育の目標と指導内容の構成
・教科・領域等の構成と授業時数等 |
| 【第3回】 | 教育改革と学習指導要領
・学校教育の課題と学習指導要領改訂の趣旨 |
| 【第4回】 | 教育課程の基準
・根拠法令と学習指導要領の内容 |
| 【第5回】 | 教育課程編成の一般方針①
・教育課程編成の原則 |
| 【第6回】 | 教育課程編成の一般方針②
・道徳教育 |
| 【第7回】 | 教育課程編成の一般方針③
・体育・健康に関する指導 |
| 【第8回】 | 教育課程編成の一般方針④
・就業やボランティアにかかわる体験的な学習の指導 |
| 【第9回】 | 教育課程実施上の配慮事項①
・言語環境の整備と言語活動の充実 等 |
| 【第10回】 | 教育課程実施上の配慮事項②
・体験的・問題解決的な学習及び自主的、実践的な学習の促進 等 |
| 【第11回】 | 教育課程実施上の配慮事項③
・指導方法や指導体制の工夫改善など個に応じた指導の充実 等 |
| 【第12回】 | 教育課程実施上の配慮事項④
・指導の評価の改善 等 |
| 【第13回】 | 教育課程編成の実践
・「特色ある教育活動の編成」(「総合的な学習の時間」等) |
| 【第14回】 | 教育課程編成上の課題のまとめ、授業内試験 |
| 【第15回】 | 教育課程の編成・実施に関わる今日的課題と今後の動向、授業のまとめ |